

第6回
高知市在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会
～本人・家族に寄り添う多職種連携について～

令和5年

2月25日(土)
午後2時～4時

オンライン
(Zoom)

アーカイブ配信
2/27～3/11まで
(※アーカイブ配信は希望者のみ)

対象：
医療・介護・
福祉関係者
(参加費無料)

永井 康德先生

- * 医師
- * 医療法人ゆうの森 理事長
たんぼぼクリニック

<略歴>

1966年生まれ。愛媛県出身。愛媛大学医学部卒業後、2000年に四国初の在宅専門診療所「たんぼぼクリニック」を松山市に開業。職員4名、患者0人からスタートする。現在は職員100名以上の多職種のチームで協同しながら患者さんを支え、寄り添う在宅医療を主体に、有床診療所、外来診療もおこなっている。2012年には市町村合併の余波で廃止となった人口1,200人の町の国保へき地診療所を民間移譲され、年間3,000万円の赤字を初年度で黒字化。このへき地医療の取り組みで、2016年に第1回日本サービス大賞地方創生大臣賞を受賞した。「全国在宅医療テスト」や「今すぐ役立つ在宅医療未来道場（通称いまみら）」、松山市内の専門職向け研修会等を定期的に開催し、在宅医療の普及にも積極的に取り組んでいる。

2019年厚生労働省「厚生労働省医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」構成員。

14:00～開会挨拶
船井 守 高知市医師会 会長

14:10～永井 康德先生 講演会
『多職種連携で行う在宅医療
～亡くなるまで食べるためには？～』

15:10～取り組み発表
『本人・家族に寄り添う多職種連携について』
* 山本 詩帆氏
(訪問看護ステーションちかもり：保健師)
* 佐竹 枝里氏
(居宅介護支援事業所しもぢ：主任介護支援専門員)
* 西川 まり子氏
(訪問看護ステーションおたすけまん：理学療法士)
* 藤岡 芽生氏
(リハビリテーション病院すこやかな杜
地域連携室：ソーシャルワーカー)

15:50～永井 康德先生による感想・総評

15:58～閉会挨拶

16:00 閉会